

## 真夏の瀬戸内紀行(その4)

### 今治～瀬戸田～笠岡

2021-7-30 池田良穂

高松に1泊して、早朝から港に出入りする船のシップウォッチングを楽しみました。これまでなかなか出会えなかった豊島からの高速旅客船「まりんなつ1号」やチャーター船「みくに」に会うことができました。

この後、高速道路で今治まで移動して、来島海峡が見下ろせる糸山公園の来島海峡展望台でシップウォッチング。ここでの目的は、波止浜港から来島海峡に浮かぶ来島、小島、馬島に通う渡船「くるしま丸」の走行中の写真を撮ることでした。新造船に代替されて以降には、港で停泊時の写真しか撮れておらず、「日本の旅客船Ⅲ」にも航行中の写真を載せることができませんでした。そのリベンジです。同船が通う小島には、要塞跡があり、紀淡海峡に浮かぶ友が島と同様に廃墟ブームが来ることを期待できそう。

また、昼間の来島海峡を航海する定期客船としては、今治市営の「第二せきぜん」と「とびしま」、大三島ブルーラインの「みしま」があります。これらの船も糸山公園のすぐ下を航海します。

#### 第二せきぜんに乗る

14時45分に今治港を出港する市営船「第二せきぜん」に乗船しました。この船は、石田造船で建造されたトリマラン型カーフェリーです。旧関前村の大下島、小大下島、岡村島の3島に寄港して、約2時間で往復できました。途中、来島大橋、造船所がひしめく波止浜の入江などを見ながら沿岸

に沿って北上してから、瀬戸内海の斎灘を横断します。そして、大下島、小大下島に寄港して、最後に岡村島に到着して、折り返します。オープンデッキが狭く、長椅子が2つあるだけなので、もう少しデッキスペースがあればと思いました。

#### 「クイーンコーラルクロス」と初対面

旧関前村からの航海から帰ってから今治市内で1泊して、翌朝6時半発の「みしま」に乗船して大三島に渡り、瀬戸田に向うつもりでしたが、早朝からの炎天下の港での撮影とフェリーの乗船に疲れて体が悲鳴を上げ始めたので、しっかり寝てゆっくり起きてからの出発に変更しました。

今治のインターからしまなみハイウェイに乗り、生口島で降りて瀬戸田に向いました。内海造船の艀装岸壁には「クイーンコーラルクロス」の姿が陽光に眩しく輝いていました。

内海造船の裏にある沢港のフェリー栈橋に行くと、これまで須波に直行だったフェリールートが、途中、佐木島の港に寄るように変更されており、就航船も大型船に変わっていました。これも「日本の旅客船Ⅲ」の掲載情報からの変更点です。

瀬戸田港を覗いて、係留中の3隻の高速旅客船の写真を撮ってから、沢港から「第二かんおん」に乗船しました。途中に寄港港が増えたので、沢港の近くの洋上で進行方向をスイッチバックするのが面白かったです。

### 笠岡でのシップウォッチング

三原の須波港に上陸した後、高速道路で岡山の笠岡まで行き、笠岡港で「日本の旅客船Ⅰ」発行後に新造された高速旅客船「しおじ」を撮影しました。残念ながら同船の走行中の写真は撮れませんでした。また次の訪問の時までの楽しみとしておきます。

これで2泊3日の真夏の瀬戸内海の旅を終えました。

### 糸山公園でのシップウォッチング



観潮船「くるしま」が海峡内を快走していました。



波止浜港を起点に、来島、小島、馬島を廻る定期船「くるしま丸」。2019年にツネイシクラフト&ファシリティーズで建造されたアルミ製の小型フェリーです。



来島海峡を北上して旧関前村(現今治市)に向う市営船「第二せきぜん」。公園のすぐ下の海上を北上していきました。潮流の遅い沿岸近くを航行しているのでしょう。



大三島ブルーラインの「みしま」が来島海峡を通過して今治港に向う姿です。



バルクキャリア「C S Dream」が来島海峡を北に通過していきました。バルクも直線船首の船が増えました。

### 「第二せきぜん」に乗る

今治港から市営船「第二せきぜん」に乗船して旧関前村まで往復しました。



今治港のモダンな旅客船ターミナル。最上階のレストランは廃業のようでした。



今治港から「第二せきぜん」に乗船しました



出港すると、後ろには今治の市街地が広がりました。右に高くそびえるのは今治造船経営の今治国際ホテルです。



来島海峡大橋を通過すると、右手に波止浜の造船所群が見えました。今治造船本社工場、浅川造船、新来島ドック、檜垣造船などがひしめいています。



旧関前村の中心の岡村島には離島センターのビルがありました。岡村島は橋で呉市と繋がっています。



岡村島での荷役風景です。15分の停泊の後、今治港へと出発しました。

### 今治港でのシップウォッチング



高速旅客船「とびしま」。「第二せきぜん」と共に旧関前村の島々と今治港を結びます。



高速旅客船「第1ちどり」。芸予汽船の運航で、今治港から、芸予諸島の港に寄りながら因島の土生港まで運航されています。

## 瀬戸田でのシッフウォッチング



瀬戸田の内海造船ではマリックスラインの「クイーンコーラルクロス」が艤装中でした。11月20日鹿児島発便から、奄美諸島経由で沖縄の本部と那覇を結ぶ航路に就航します。



沢港で須波に渡るカーフェリーを待っている間、目の前を数隻の高速旅客船が通過または寄港していきました。写真は三原航路の「サンロマンス2」です。



双胴高速船「シーホーク」です。



高速旅客船「シトラス」



瀬戸田港には3隻の高速旅客船が係留されていました。「かがやき1号」(左)、「にゅうほうらい」(手前右)、「しまなみ1」です。背景に写る生口島と高根島を結ぶ橋のすぐ右の袂に沢港があります。

## 「第二かんおん」で須波に渡る



沢港と須波港を結ぶ航路は、佐木島に寄港する航路となり、大型の「第二かんおん」が就航していました。



「第二かんおん」の船内です。カーテンがぼろぼろでちょっと可哀そうな状態でした。



沢港を出港すると内海造船の前を通り、船台の上で建造中の船の姿が見えました。



内海造船で修理中らしき巡視艇「はてるま」の姿もありました。



沢港から乗車は筆者の車 1 台だけでしたが、佐木島の向田港からはたくさんの車が乗船しました。



向田港を出港して須波港に向かう途中、左手には今治造船の広島工場(旧幸陽ドック)が見え、ヤンミン社向けの 1.1 万 TEU 積みのコンテナ船が連続建造中でした。



須波港の浮棧橋には「第八かんおん」が係留されていました。

### 笠岡港でのシップウォッチング



笠岡港には高速旅客船「しおじ」が停泊中でした。ツネシクラフト&ファシリティーズが建造したアルミ船で、19 総トン、23.5 ノットです。



笠岡港に繋がれていた小型客船群です。



笠岡湾はたいへん細長い水路状になっており、高速旅客船およびカーフェリーの港はいずれも湾の奥深くにあります。水路の両岸は公園になっていてシップウォッチングには最適です。「第 21 金風呂丸」が水路を北上してきました。



高速旅客船「ニューかさおか」が、湾奥の笠岡港に向かって水路を北上し(上の写真)、10 分ほど後には出港していきました。